

平成 28 年度「公募型共同研究事業」の採択を決定しました

(公財)若狭湾エネルギー研究センターでは、福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」に掲げる「研究開発機能の強化」の一環として、県内をはじめ、関西・中京圏の大学・研究機関等との共同研究を推進しています。

平成 28 年度は、4 月 8 日～5 月 23 日まで、事業化・実用化を目指す企業を研究体制に加えた「産学連携研究」と、研究者が共同で行う「基礎研究」に関する公募を行いました。

このたび、16 件(産学連携研究 3 件、基礎研究 13 件)の提案があり、審査の結果、下記のとおり、7 件(産学連携研究 2 件、基礎研究 5 件)の採択を決定しましたのでお知らせします。

記

【産学連携研究枠(2 件)】

(掲載は提案機関五十音順)

件 名	研究 概 要	[提] 提案機関 [企] 参加企業 [協] 研究協力機関
イオンビーム励起反応場を利用した鉄ロジウム合金の磁気改質技術開発と各種デバイス創製への応用	イオンビームを照射し、マイクロ・ナノスケールで合金の磁気特性を改質する技術を確立することにより、磁気センサーや磁気メモリーの高感度化、高密度化による新たなデバイスへの応用を目指す。	[提] 大阪府立大学 [企] 住重試験検査(株) [協] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
新材料を用いた超小型レーザビーム走査ミラーの作製とそれを用いた眼鏡型ディスプレイの実現	磁性薄膜を使った超小型ミラーを開発し、超小型画像投影装置に搭載することにより、シンプルで超軽量の眼鏡型レーザ・ディスプレイを作製する。	[提] 福井大学 [企] ケイ・エス・ティ・ワールド(株) [協] (株)ムス・コア、(株)シアルマン、東海光学(株)、小松電子(株)

【基礎研究枠(5 件)】

(掲載は提案機関五十音順)

件 名	研究 概 要	[提] 提案機関
石油を作る微細藻類ポトリオコッカス ブラウニーの重イオンビーム照射による変異株ライブラリーの作出	再生可能でカーボンニュートラルな次世代燃料として、微細藻類が作る「緑の原油」が注目を集めている。本研究では、重油相当の炭化水素を大量に蓄積する石油のもととなる微細藻類「ポトリオコッカス・ブラウニー」に重イオンビームを照射し、突然変異育種を試みるものである。	[提] 大阪工業大学
イオンビーム照射による山田錦のテーラーメイド育種ライブラリーの開発と福井県に適した「新山田錦」の育成	イオンビーム照射により、日本酒醸造用ブランド品種「山田錦」の「草丈が高い」「茎がもろい」「収穫が遅い」といった弱点を克服する変異体ライブラリーを開発し、福井県内での生産に適した「新山田錦」を育成する。	[提] 福井県立大学
低酸素環境下のがん細胞に対する陽子線治療メカニズムの解明	分子イメージング技術を活用し、放射線治療や化学療法に抵抗性を示す低酸素環境下のがん細胞に対する陽子線治療のメカニズムを解明することにより、陽子線がん治療効果予測法の確立を目指す。	[提] 福井大学
冬虫夏草変異株を用いた新規抗腫瘍物質の生産	冬虫夏草が生産するコルジセピンを誘導體化することにより、生体内での有効性を高めた新たな抗腫瘍物質を開発する。	[提] 福井大学
陽子線がん治療における低線量被ばくした正常組織での組織幹細胞動態の解明	陽子線照射により、低線量被ばくした担がんマウスの小腸および骨髄の正常組織の被ばく線量を推定し、陽子線による影響を評価し、陽子線がん治療時の安全性、信頼性の向上を図る。	[提] 福井大学